

努力賞

リヤアクスル脱着治具

[滋賀県支部] トヨタL & F 近畿(株)
守山支店 柴田 圭佑

【考案の動機】

2 柱リフト（パスカルリフト）で車両を上げた状態では、重量物の取り外しが出来ない（重心位置が変わる為）ので、車体を輪木等で前後を保持する必要があり、フォークリフトでのリヤアクスル脱着が困難でした。

【考案の内容】

リヤアクスル脱着治具	使用風景		
			
			
	車両後方よりベースを挿入・設置		キャップ外し、下降、接地
	左右どちらから再度フォーク差込		作業スペースへ移動させ、接地

【効果】

この治具は、後方・左右どちらからでもフォークを挿入する事が出来るので、安心してフォークリフトでリヤアクスルを脱着する事が出来る様になり、転倒リスクが低減しました。